

科目名	成人看護学演習				分野・必選別・単位数	専門科目 (成人看護学)	選択必修	4単位
担当教員	◎教授 南川雅子						科目ナンバー	T2C107
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	通年	授業方法	演習	
授業の概要	データ収集やデータの分析方法を習得するため、学生が興味・関心のある領域に関連する場でフィールドワークを行い、学生が決めたテーマでデータ収集し、分析を行う。							
授業の到達目標	学生が興味・関心のある領域に関連する場で、学生が決めたテーマと方法でデータを収集することができる。収集したデータを分析し、考察してレポートにまとめることができる。							
授業計画	回数	担当者	行動目標					
	<p>【第1回】科目概説, フィールドワークとは フィールドワークの意義と方法について説明できる。</p> <p>【第2回～第6回】フィールドワークの計画立案 テーマの決定、データ収集の計画、分析方法の決定、フィールドの調整など、フィールドワークに出るための準備ができる。 必要時、倫理委員会に提出するための書類を作成する。</p> <p>【第7回～第20回】フィールドワーク フィールドでデータ収集を行う。 フィールドに出たら、毎回担当教員に報告書を提出する。</p> <p>【第21回～第25回】データの分析 対象から得られたデータを計画した方法で分析できる。</p> <p>【第26回～第30回】分析結果に基づいた考察 分析結果に基づいて考察したことを述べられる。</p>							
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	各授業の課題を明確にし、課題達成に向けて主体的に準備を進める。						
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、文献等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。						
	【必要時間】	当該期間に60時間以上の予復習が必要。						
教科書	必要に応じて適宜提示する。							
参考書	必要に応じて適宜提示する。							
成績評価の方法および基準	フィールドワークの計画書30%、フィールドワーク中の報告書30%、最終レポート40%で評価する。							
その他履修上の注意事項	演習日程については、話し合いの上で決定する。 試験やレポート等に対し、講義中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。							

科目名	成人看護学演習				分野・必選別・単位数	専門科目 (成人看護学)	選択必修	4単位
担当教員	◎教授 林さとみ 准教授 古屋洋子					科目ナンバー	T2C107	
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	通年	授業方法	演習	
授業の概要	成人看護学特講Ⅱで明確にした学生がテーマとする健康問題や事象がもたらす脆弱性、既存の概念モデル適用の検討を基盤として、研究テーマの明確化・研究実施に必要な基礎的能力を修得する。明確になった研究テーマ探求のための具体的研究方法の検討、計画立案の過程を修得する。							
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究テーマを明確にできる。 2. 研究テーマに即した背景、意義、看護問題を明確にできる。 3. 研究テーマに即したデータ収集方法、データ分析方法が計画できる。 4. 研究計画書を記載できる。 							
授業計画	回数	担当者	行動目標					
	<p>【行動目標】</p> <p>【第1回】学修活動を明確にして、研究計画書作成のプロセスを明確にできる。</p> <p>【第2回～第8回】 学修活動：研究テーマに即した文献精読・クリティーク 行動目標：研究テーマを明確にできる。</p> <p>【第9回～第15回】 学修活動：研究テーマの明確化、実現可能性の検討 行動目標：研究テーマに即した背景、意義、看護問題を明確にできる。</p> <p>【第16回～第22回】 学修活動：研究デザイン、データ収集方法、データ分析方法の検討 行動目標：研究テーマに即したデータ収集方法、データ分析方法が計画できる。</p> <p>【第23回～第30回】 学修活動：研究計画書作成・研究計画プレゼンテーション 行動目標：研究計画書を記載できる。</p>							
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 回次の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。						
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、教科書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。						
	【必要時間】	当該期間に60時間以上の予復習が必要。						
教科書	必要に応じて適宜提示する。							
参考書	必要に応じて適宜提示する。							
成績評価の方法および基準	プレゼンテーション20%、討論への参加状況と内容10%、クリティークの内容・妥当性20%、課題レポート50%により評価する。							
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP3が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。							